

意見集約

第1次村上市総合計画

中間総括(素案)

総合計画

【村上地区】

基本目標 1 支え合い安心して暮らせる思いやりのあるまちづくり						地区	委員氏名
政 策	1	保健・医療の充実	施 策	1	総合的な健康づくりの推進		
推進手法		「自分の健康に関心をもち、良い生活習慣を身につけよう」という目標のもと、市民と協働による健康づくりを推進します。			食生活改善推進委員協議会の高齢化及び減少による地域の活動に差が生じている。委員増加へ市の広報活動が必要あり。	村上	
担当課	保健医療課						
内部評価及び 主な 実施事業等		十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施			食生活改善推進協議会や老人クラブ、まちづくり協議会等と連携し実施し、徐々に市民の健康に関する意識は高まっていると思われる。(料理伝達講習会、老人クラブ健康教育、地域の茶の間、出前講座等)		
現状と課題		健康むらかみ21計画に基づき、継続して「自分の健康に関心を持ち、よい生活習慣を身につけよう」の意識を浸透させていく必要がある。					
政 策	1	保健・医療の充実	施 策	2	成人・高齢者への健康支援	地区	委員氏名
推進手法		各種がん検診の受診率の向上に向け、受けやすい健診の整備を進めます。			各種がん検診の結果が「異状なし」でも送付するのを継続し「受けやすい健診」にしてほしい。	村上	
担当課	保健医療課						
内部評価及び 主な 実施事業等		十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施			セット健診のほか、各種検診の同日実施、休日実施等を実施し利便性の向上を図るとともに、もれ者検診を実施し受診率の向上に努めた。また、生活実態(場所、時間、健診料等)に応じて個別と集団の選択ができる体制整備を実施した。(子宮がん、乳がん)		
現状と課題		がん検診の受診率は横ばい状況であるが、乳がん検診の受診者は増加傾向にある。今後は、新規や若年層の受診者の増加に向けて検診体制の整備を図っていく必要がある。					

基本目標 1 支え合い安心して暮らせる思いやりのあるまちづくり						地区	委員氏名
政 策	1	保健・医療の充実	施 策	4	地域医療体制の充実		
推進手法		安心できる地域医療体制の構築を目指し、関係機関と検討を進めます。				村上	
担当課	保健医療課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
現状と課題	休日に加え平日夜間の診療を開始(平成23年6月から)したことにより、患者数が増え利便性が高まった。						
現状と課題	医師会の協力を得て運営しているが、全体的な高齢化に伴う当番医師の確保が懸念されるとともに、診療スペース、設備等の環境整備を図り、診療内容の充実を図ることが必要である。						
政 策	1	保健・医療の充実	施 策	5	国民健康保険の適正運営	地区	委員氏名
推進手法		医療費の適正化に努めるとともに、国民健康保険税の収納率の向上、疾病予防・保健事業の充実等を推進するなど、国民健康保険事業の健全な運営を行います。				村上	
担当課	保健医療課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
現状と課題	レセプト点検体制の充実・強化による過重診療の抑制、重複頻回受診者等の訪問指導を実施した。またジェネリック医薬品の使用促進や、「健康ダイエット教室」等の体験型個別健康支援プログラムを定着させ、医療費の抑制に努めた。						
現状と課題	受診訪問等の保健事業の充実を図るとともに、ジェネリック医薬品の使用促進を強化し医療費抑制を推進するとともに、収納体制を強化する必要がある。						
現状と課題	現状と課題中、収納体制を強化する必要があるが誰でもわかる様、保険税の収納体制・・・とした方が良いのではと思います。						

基本目標 1 支え合い安心して暮らせる思いやりのあるまちづくり						地区	委員氏名
政 策	2	地域福祉の形成	施 策	3	ボランティア育成・地域福祉活動支援の充実		
推進手法		各種ボランティア団体の活動や交流の場として既存施設の活用を図ります。				内部評価及び主な実施事業等中、・・・既存施設を活用し実施された。とある 現状と課題中、・・・有効活用については、検討を要する。	村上
担当課	福祉課・関係各課					上段では実施しているので、検討を要する前に更に検討を要するにした方が良いのではと思います。	
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
	「村上おもちゃの病院」や「手話サークルひまわりの会」、「ふれ愛フェスティバル」が既存施設を活用し実施された。						
現状と課題	イベント的な有効活用は図られたが、市民及び他団体との交流の場としての有効活用については、検討を要する。						
政 策	3	高齢者支援の充実	施 策	1	健康寿命を延ばす保健・介護予防対策の推進	地区	委員氏名
推進手法		心身ともに健康で活動を続けられる健康寿命の考え方に基づき、疾病の早期発見・治療はもとより、健康づくり・介護予防施策の推進を図ります。				「地域の茶の間」などの組織を利用するほかに、集落によっては定期的な地域の集まりがあるので、それを利用し、健康づくりの意識高揚も図ることもよい。	村上
担当課	保健医療課・介護高齢課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
	地域の茶の間・老人クラブ・転倒予防教室での健康教育や、各地区で脳の健康教室等の二次・一次予防事業を実施した。また、高齢者インフルエンザ・肺炎球菌ワクチンの助成事業を開始し、高齢者の健康保持を継続的に実施する。						
現状と課題	今後もさらに健康に関する正しい知識の普及等を行い、生涯にわたって健康なからだづくりを促す取り組みを実施する。「今は健康だから」という理由で事業に参加しない人も少なくはなく、介護予防という意識を高める啓発が必要である。						

基本目標 1 支え合い安心して暮らせる思いやりのあるまちづくり						地区	委員氏名
政 策	3	高齢者支援の充実	施 策	3	高齢者の自立を支える福祉事業の充実		
推進手法		高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、身近な地域で提供する福祉サービスの充実を目指します。			介護高齢者（岩船）評価が悪い。通院時のタクシー乗物の使用と補助に付いて考えてください。まちなか循環バス・タクシー（一部地域デマンドタクシー）等を各家庭まで考えるべきである。岩船高齢者は苦しんでいる。	村上	
担当課		介護高齢課			岩船をわすれるな。もっと相談が必要と言う。		
内部評価及び 主な 実施事業等		十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施					
現状と課題		在宅での自立した生活を送り、介護者の負担軽減のための住環境整備の促進、発作などの急病時における安否確認、通院時のタクシー料金の補助等を実施した。ケアマネ会議や出前講座などで制度の周知を図り、利用者は増加傾向となっている。					
現状と課題		緊急通報装置の機能の拡充や対象者の規定の見直しが必要となるほか、利用しやすい外出支援サービス(通院時タクシー利用補助)への検討が必要となる。					
政 策	5	子育て支援の充実	施 策	2	母子乳幼児の健康確保・増進	地区	委員氏名
推進手法		安心して妊娠・出産・育児ができる生活環境づくりおよび地域での子育てを支援する体制づくりを推進します。			1歳児～3歳児が遊べる保育施設が乏しく困っているのが、まちづくり協議会で何とかできないものかと、数名の方から相談を頂いた。今は学童保育や「マナボーテ」の施設を利用し遊ばせているが、スペースが狭く、大きな子供たちが入ってくるととても危険な状態である。現地を確認したところ確かに狭すぎる。しかし工夫次第でこれらの問題は改善のできるのではないかと感じた。現在少子化が大きな社会問題になっているが、安心して子育てができる地域の確立を目指すことが大切、それが少子化対策につながると考える。	村上	
担当課		保健医療課					
内部評価及び 主な 実施事業等		十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施					
現状と課題		妊娠・出産・育児の各期における支援を実施し、妊産婦の健康増進や子育ての経済的・精神的支援を実施した。（妊婦一般健診の助成、乳幼児紙おむつ処理支援、パパママ応援教室、離乳食赤ちゃん教室等）					
現状と課題		各教室への参加者が減少傾向にあるため、参加者のニーズに合わせ、内容の充実を検討していく必要がある。					

基本目標 1 支え合い安心して暮らせる思いやりのあるまちづくり						地区	委員氏名
政 策	5	子育て支援の充実	施 策	4	要保護児童対策の充実		
推進手法		家庭児童相談室や村上市要保護児童対策地域協議会の機能充実に図り、児童虐待防止策や障がい児施策の推進など、要保護児童に対し適切な対応を図ります。				現状と課題中、家庭相談員の勤務体制を含めたところがあるが、家庭相談員の増員や勤務体制とした方が良いと思う。	村上
担当課	福祉課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
現状と課題	児童虐待に関する相談の他、DV等の広範囲に渡る相談に対応した。要保護児童対策協議会では、民生・児童委員等の関係者と情報共有を図り、適切な対応に努めてきた。なお、平成26年度からは子ども・若者総合サポート会議での取組となる。						
現状と課題	家庭相談員が抱える相談ケースの数が多く、また対応が難しいケースも増えており、予防に対する取り組みが手薄の現状にあるため、家庭相談員の勤務体制を含めた、総合的な相談体制の充実を図る必要がある。						
政 策	5	子育て支援の充実	施 策	5	要保護児童対策の充実	地区	委員氏名
政 策		子どもたちが安全で遊べる場所の確保のため、児童遊園施設整備に対する支援を行います。				現状と課題について補助要綱の改正が必要と考える。（修繕も可とするように。） 「拠点化」と「大規模公園」と端的に表現できないか。（市制10周年記念事業として具現化してほしい。）	村上
推進手法	福祉課						
担当課	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
現状と課題	簡易水泳プールを有する区に対しては、維持費の軽減を図り児童の安全な遊び場を提供しているが、遊具設置については申請件数が少ない。						
現状と課題	遊具の新設については補助制度の研究が必要なほか、児童遊園施設の拠点化を望む声もあることから、方向性の検討が必要となる。						

基本目標 1 支え合い安心して暮らせる思いやりのあるまちづくり					地区	委員氏名
政 策	5	子育て支援の充実	施 策	7	放課後児童健全育成の推進	
推進手法		子どもたちの健全育成を図るため、学童保育事業や放課後子ども教室事業を実施します。			学童保育をさらに充実推進を図る必要がある。	村上
担当課		福祉課・生涯学習課				
内部評価及び 主な 実施事業等		十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施			瀬波地区「放課後子ども教室」の参加者が少数で学校内での認知度が課題だと思う。	村上
現状と課題		学童保育については、子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、職員体制の整備が必要となる。また、現在、山北地区で計画されている放課後子ども教室事業については、地域ボランティアの確保や活動場所までの移動手段が課題となっている。				
政 策	6	生活支援の充実	施 策	1	総合的な低所得者福祉の推進	地区
推進手法		生活相談機能を充実し、相談者の立場に立った相談対応を行います。また、様々な相談内容に応えるため、担当職員のスキルアップを図ります。			個人情報に配慮しながら、民生委員も調査訪問が必要ではないか。	村上
担当課		福祉課				
内部評価及び 主な 実施事業等		十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施				
現状と課題		現在は生活保護に関する相談が主となっているが、平成27年度からは生活困窮者自立支援法の施行による相談事業が実施されるため、体制整備を進める必要がある。				

基本目標 1 支え合い安心して暮らせる思いやりのあるまちづくり					地区	委員氏名
政 策	6	生活支援の充実	施 策	1 総合的な低所得者福祉の推進		
推進手法		生活相談者のプライバシーに配慮しながらも適切な処遇を図るため、関係機関との連携を図ります。			村上	
担当課	福祉課					
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施		
現状と課題	関係機関、関係各課からの引継ぎについてはスムーズに行われており、必要に応じて同行するなど適切に対応した。					
現状と課題	生活困窮者自立支援法の施行により、より幅広い関係機関、関係各課との連携が必要である。					
推進手法		生活保護制度の趣旨や受給要件について適確に説明し、相談者の権利保全に努めます。			村上	
担当課	福祉課					
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施		
現状と課題	保護のしおり等により、わかりやすく制度を説明するとともに、国・県の指導の下、相談者の権利を侵害しないよう、申請の自由についても説明している。					
現状と課題	相談者の権利侵害、特に申請権の侵害については国・県からも指導を受けており、引き続き権利保全に努める必要がある。					

基本目標 1 支え合い安心して暮らせる思いやりのあるまちづくり				地区	委員氏名
政 策	6	生活支援の充実	施 策	2	生活保護世帯の自立助長
推進手法	被保護世帯の自立阻害要因の把握に努め、適切な指導・助言の実施により、世帯自立の助長を図ります。			個人情報に配慮しながら、民生委員も調査訪問が必要ではないか。	村上
担当課	福祉課				
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 担当ケースワーカー、就労支援員により指導・助言を行うものの、雇用情勢の悪化や交通機関の乏しさなどにより自立(保護廃止)には至らないケースが多かった。				
現状と課題	雇用情勢が徐々に上向いているものの、年齢制限や通勤手段により就職先が限定されてしまい思うように就職が進まない現状にある。また、社会生活への適応能力が低く、一般就労は難しいケースも多いため、適切な指導・助言に努める必要がある。				
推進手法	制度適用開始時および制度適用後の各種調査の徹底を図り、被保護者の権利保全に努めます。			個人情報に配慮しながら、民生委員も調査訪問が必要ではないか。	村上
担当課	福祉課				
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 保護申請後、速やかに調査を実施し、法定期限内での保護決定に努めた。また、調査未了の場合でも、法第63条適用により保護決定を行うよう心がけ、早期保護決定に努めた。				
現状と課題	引き続き早期の保護決定に努めていく必要がある。				

基本目標 1 支え合い安心して暮らせる思いやりのあるまちづくり					地区	委員氏名
政 策	6	生活支援の充実	施 策	2	生活保護世帯の自立助長	
推進手法	関係機関の連携を図り、適正保護の実施に努めます。				個人情報に配慮しながら、民生委員も調査訪問が必要ではないか。	村上
担当課	福祉課					
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施		
現状と課題	引き続き関係課、関係機関との連携に努める必要がある。					
政 策	7	平等社会の推進	施 策	3	人権推進施策の充実	
推進手法	すべての市民が人権を尊重し、心豊かな郷土を築いていくため、まちづくり基本条例を制定し、市民相互や行政の責務を明確にするとともに各種施策を推進します。				日本の大きな社会問題の一つであるが、現在格差社会に向かい加速されている。生産物の分配の仕方、格差が大きくなっていることは誰も否定できない。この格差によって平等な人権の尊重が蔑にされ、支え合いの精神や思いやりが希薄になり、社会構造に大きな影響をきたしている。こうした社会背景の中で、まちづくり協議会の役割は、ますます重要となっていく。日々の暮らしの中で人権尊重を育み、暮らしの中で思いやりの尊さを養っていく心が、何よりも大切になっていく。この課題を考えた時各地域のまちづくり協議会の質の向上を図り発展させていき、住民が主体的に地域の課題や物事に取り組み、完結していくことが大きくその地区を変えていく。「こんな町で暮らしてみたい」、「こんな町に住んでみたい」と思われるまちを目指し実現することこそ平等な社会づくりに貢献するものである。	村上
担当課	政策推進課・関係各課					
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施		
現状と課題	市民や行政内部に対し、様々な場面で周知することで実効性の確保を図ることが必要である。					

基本目標2 自然と景観を守る環境に優しいまちづくり					地区	委員氏名
政策	1	自然環境の保全	施策	1		
推進手法	村上市環境基本条例（平成21年3月制定）および村上市環境基本計画を策定し、市民・事業者および行政等あらゆる主体の適切な役割分担と相互理解の下に、自然環境を守り、活用する取り組みを推進します。				村上	
担当課	環境課					
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施	村上	
現状と課題	<p>環境基本条例について、市民アンケートやこれまで実施してきたワークショップの話になるが、村上の良いところをあげてくださいと問えば、「自然が豊かなところ」といつでも1番にあげられ、それが今でも続いている。総合計画の中のに、現状と課題の項目があり「・・・豊かな環境を次の世代に引き継がなければならない。」というくだりがある。環境問題はこのことから考えなければならない。この考え方を重点項目にすれば、環境基本条例の進捗管理委員会が年2回という少なすぎる回数・議論で進めてよいのか。また一方、各地域の自然環境問題の保全は置き去りにされており、現状をまったく把握されていない。代わりに自然環境の活用ばかりが進んでいくようでは、市民が1番に上げる心のよりどころや誇りを失うことになる。</p>					
推進手法	「環境フェスタ」等各種イベントを開催し、啓発活動の推進を図ります。				村上	
担当課	環境課					
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施	村上	
現状と課題	<p>今年度の環境フェスタであるが、「村上の自然環境を次世代にわたさなければならない、」を基盤として考えていく。環境フェスタ開催するにあたり、学校関係者にこの開催を伝えているのか。次世代の子供たちにこのフェスタに参加してもらい、学校で学んだ環境について子供たちと一緒に取り組むことが、次世代に渡す最も具体的なものであるが、フェスタに取り組む姿勢からは、大切なものが欠落し、そして理念が失われ、どこにもそれらを感じとれない。また、開催の事前説明会でもこれらについての説明や話などなかった。これからは教育機関との連携が是非とも必要に思う。文中にマンネリ化とされているが、厳しくいうと形骸化していると思わざるを得ない。しっかりとした目的意識をもって取り組むべきである。</p>					
現状と課題	マンネリ化の傾向は否めない現状であり、環境に関する活動を行っている団体による実践発表会についても発表団体も例年限られており、新たな実践事例の発掘も必要である。					

基本目標 2 自然と景観を守る環境に優しいまちづくり							地区	委員氏名
政 策	1	自然環境の保全	施 策	1	総合的な自然環境の保全・活用の推進			
推進手法		産業振興や体験交流イベントなどを通じた森林、農地から海洋に至るまでの保全、活用を行うことで、自然環境保全への相乗効果を図ります。				村上市観光協会と連携して瀬波温泉海岸の清掃活動を実施したことは有意義であったが、内部評価としては「実施したが不十分」。現状と課題にあるよう「今後も持続的な取組み」の担保として経常的な予算措置と予算の増額が必要である。	村上	
担当課	農林水産課・政策推進課・商工観光課							
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施				
	人・農地プランの実施により農地の保全を図ったほか、各種団体、関係機関が一体となった「さけの森林づくり活動」の推進により自然環境の保全が図られた。また、村上市観光協会と連携し瀬波温泉海岸の清掃活動を実施した。							
現状と課題	自然環境の保全へ大きな効果がみられるため、今後も持続的な取り組みが必要である。							
政 策	1	自然環境の保全	施 策	2	海岸・河川等水辺の保全・活用の推進		地区	委員氏名
推進手法		クリーン作戦の実施や市民の清掃活動を支援し、海岸・河川等の環境の保全に努めます。				海岸・河川等水辺の保全・活用であるが、現在地域の水辺や海浜の生態系は悪化の一途をたどっている。瀬波海岸の貴重な海浜植物が、絶滅の危機にさらされており、エチゴトラノオ、ヒメイズイ、セナミスミレいずれも絶滅危惧種 類に指定されている。中には瀬波海岸が基準地となっている植物も含まれている。絶滅原因は開発行為、盗掘、車の乗り入れの踏み付けなどによる。これらはあくまで人為的行為であり防ぐことが出来るものである。行政がいう環境保全に努めるということは、どんなことを指して言うのか理解できない。これらについての専門家は乏しく対処しにくいのが現実であろう。対策として大学などの専門家、保護活動の団体などとの連携が急務である。このまま放置すれば完全に瀬波海岸から貴重な海浜植物群は絶滅してしまう。この責任は村上市民によるものであり、これらを失うということは村上の財産を失うことになる。	村上	
担当課	環境課							
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施				
	自治会、団体、老人クラブ等が実施する海岸、海水浴場等の清掃活動に対し、回収袋の支給や回収処理の支援を実施した。							
現状と課題	活動が定着しており、今後も継続して支援する必要がある。							

基本目標2 自然と景観を守る環境に優しいまちづくり					地区	委員氏名
政 策	1	自然環境の保全	施 策	2		
推進手法		河川等公共用水域の水質検査を実施し、水質の保全に努めます。			国の基準では村上市の河川の水質は守れないような気がする。	村上
担当課		環境課				
内部評価及び 主な 実施事業等		十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施				
		公共用水路で43カ所、地下水で32カ所の水質検査を実施した。				
現状と課題		家庭の飲用水として井戸を使用する世帯は減少しているため、検査結果データを勘案の上、調査個所の見直しを検討する必要がある。				
基本目標3 活気に満ちた輝くにぎわいのまちづくり					地区	委員氏名
政 策	1	農業の振興	施 策	1		
推進手法		「水田農業ビジョン」により農業担い手の育成を図るとともに、豊かな地域資源を活かした農産物の高付加価値化や地産地消の取り組みを推進し、総合的な農業振興を図ります。			現状と課題において、地域の振興品目の重要性その推進施策が課題である。	村上
担当課		農林水産課				
内部評価及び 主な 実施事業等		十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施				
		村上市農業再生協議会において、平成23年5月に「村上市水田農業ビジョン」を策定。経営所得安定対策をはじめとする各種対策・事業を通じて総合的な農業振興を図った。				
現状と課題		米価の下落・米の消費の落ち込み等、水稲による農業生産は厳しい状況にある。今後は水稲以外の作物の振興が重要になってくる。				

基本目標3 活気に満ちた輝くにぎわいのまちづくり						地区	委員氏名	
政 策	1	農業の振興	施 策	1	総合的な農業振興の推進			
推進手法		農地法を基本とした農地の適正な管理に努めるとともに、意欲的な農業者への農地の集積を誘導することにより、農業担い手の育成を図ります。				現状と課題において、地域の農業担い手の減少の課題がある。併せて、農地集積は土地の立地条件に影響すると思われる。	村上	
担当課	農林水産課・農業委員会							
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施				
現状と課題	農業従事者の高齢化が進む中、今後更なる農地の集積及び農業担い手の育成が必要になるため、制度周知を進める必要がある。							
政 策	1	農業の振興	施 策	2	農地の保全・活用	地区	委員氏名	
推進手法		耕作放棄地の解消や発生防止のため、農業生産基盤の整備を推進します。				「中山間地域等直接支払事業」に適合しない地域の中山間の耕作放棄地の解消のための取り組み、事業の創設が必要。	村上	
担当課	農林水産課							
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施				
現状と課題	農業従事者の高齢化が進み、耕作放棄地の拡大が懸念されるため、「中山間地域等直接支払事業」を引き続き実施し、耕作放棄地の解消及び農業生産の維持・整備を推進していく必要がある。							

基本目標3 活気に満ちた輝くにぎわいのまちづくり						地区	委員氏名
政策	1	農業の振興	施策	3	農村地域活性化の推進		
推進手法		農村地域住民による、固有の豊かな地域資源を活用したコミュニティビジネスなどの起業を支援し、農村地域の活性化を図ります。			(観光振興計画P40 2-8) 農商工連携PLUS6次産業化を謳う関連性から『定住の里づくりアクションプラン』との整合を図る必要があるが、企業支援制度の早急な実現を明記すべきである。 例えば「北限のお茶」は村上ブランドとして確立している好例である。村上茶手揉保存活動や栽培技術支援はわかりやすい支援先となる。	村上	
担当課	農林水産課・関係各課						
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施	THE JAPAN TIMES 2014.12.3(水)付11項food特集“NATURE'S PANTRY”コラム“Niigata home breas enchance tea time”にて“the nortternmost tea producing area”と紹介されている		
現状と課題	新たに6次産業化や農商工連携を加えた、産業等の活性化補助制度の見直しを進め、起業による農村地域の活性化を目指す必要がある。						
政策	1	農業の振興	施策	4	資源循環型農業の推進	地区	委員氏名
推進手法		神林有機リサイクルセンター、朝日有機センターの利用促進などにより、適正な家畜ふん尿処理および資源循環型農業の確立をめざし、環境保全に配慮した農業の振興を図ります。			畜産農家でセンター利用の未加入者で悪臭公害の出ている所もあることから、現状把握とその対策が必要である。センター事業の経営状況はどのようになっているのか現況把握が必要である。	村上	
担当課	農林水産課						
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施	地域の畜産農家の家畜ふん尿処理の基幹施設として重要な役割を果たしており、また、生産された堆肥を農地で活用することにより、環境保全に配慮した農業の振興を図ることができた。		
現状と課題	神林・朝日の両施設以外でも堆肥の利用が進んでいるため、引き続き推進していく。						

基本目標3 活気に満ちた輝くにぎわいのまちづくり						地区	委員氏名
政 策	2	林業の振興	施 策	1	総合的な林業振興の推進		
推進手法		豊かな森林資源の保護と、森林の持つ公益的機能の周知を図るとともに、人と森林のふれあいの場の整備・活用を推進します。			総合的な里山の整備が必要である。	村上	
担当課	農林水産課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
	林業振興祭や地域や学校における林業教室や木工教室等の定期的な開催により、森林教育の充実を図った。また、安全かつ容易に森林の癒し効果が体験できるよう、森林公園の維持管理に努めた。						
現状と課題	森林公園の林内整備の滞りと施設の老朽化により魅力が低下しており、整備手法、財源確保、体制づくりの検討が必要である。また、森林公園内においても松くい虫被害が拡大しており防除対策が必要がある。						
政 策	3	水産業の振興	施 策	4	水産物の消費と販路の拡大	地区	委員氏名
推進手法		産地直売イベントへの参加、地場有力水産物ブランド化の推進、地産地消運動への参画等により、消費と販路の拡大に努めます。			越後むらかみFOODプライド食モデル協議会事業計画をもっと広報に努める必要がある。 「村上地域の水産物、観光資源を広く伝える」上記事業参画の成果を市民にPR強化して欲しい。	村上	
担当課	農林水産課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
	越後むらかみFOODプライド食のモデル地域構築計画協議会へ参画し、地産地消の推進を図った。						
現状と課題	村上には多くの地域資源に恵まれているが、「鮭」以外の海産物についての魅力が、県内や全国に共有されていない現状にある。今後は、村上地域の水産物、観光資源を広く伝え、地域内の交流人口の増加や市内の水産物の消費拡大を図る必要がある。						

基本目標3 活気に満ちた輝くにぎわいのまちづくり					地区	委員氏名	
政 策	4	商工業の振興	施 策	3	企業誘致の推進		
推進手法		現在の企業誘致優遇策の見直しや首都圏域等での企業に関する情報収集に努めるとともに、セールス活動の強化を図ります。また、豊かな自然に恵まれた住環境と、整備された高速交通網を前面にPRを行い、既存工業団地への企業の誘致促進を図ります。			ジャムコを中心とした航空機関連企業との今後の在り方について、連携、協議が必要と考えられる。村上市で人材が、まかなえないことになれば、撤退・移転も考えられないことはない。	村上	
担当課		商工観光課					
内部評価及び 主な 実施事業等		十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施					
		平成22年及び平成26年に改正を行い、対象業種、条例適用基準、優遇措置の内容を見直し、より小さい投資から対象となる形とした。					
現状と課題		既存の工業団地のみならず、空き工場や空き地情報も含め、首都圏を中心に継続して誘致活動を推進する。なお現在、航空機関連産業が業績を伸ばしているため、いくつか立地に結びついているが、製造業で人員不足の傾向が現れてきているため、その対応が急務となる。					
政 策	5	観光の振興	施 策	1	総合的な観光振興の推進	地区	委員氏名
推進手法		「村上市観光振興計画」を策定し、本市観光振興の方向性および戦略の明確化を図るとともに、官民一体となった取り組みの充実を推進します。			内部評価について未実施項目が多過ぎると考える。まさに「計画通りの実施」に至っておらず、「実施工程表」に置き換え、着実に実施、PDCAサイクルをしっかりと回すべきである。外国語パンフレット（英・中・韓）の早急な整備、通訳ガイドの育成、案内看板の整備のインバウンド対応の実施。（観光振興計画P37 1-9）	村上	
担当課		商工観光課					
内部評価及び 主な 実施事業等		十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施					
		平成22年3月に村上市観光振興計画を策定、村上市観光振興計画管理委員会を設置し、計画の進捗管理を行った。					
現状と課題		計画どおりの実施に至っておらず、進捗管理の在り方も含めて検討が必要である。					

基本目標3 活気に満ちた輝くにぎわいのまちづくり					地区	委員氏名
政策	5	観光の振興	施策	1		
推進手法		「日本海きらきら羽越観光圏」の認定を受けたことから、山形県庄内地区や秋田県にかほ市と連携し、本市観光資源の魅力を高め、国内外に圏域の観光情報を発信します。			村上	
担当課	商工観光課					
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 日本海という共通テーマのもと、自然・歴史・文化・体験をセールスポイントとして、2泊3日以上滞在型観光圏の確立を目指し、「おくのほそ道」「お難さま」「温泉」等の圏内共通観光素材を活用し、認知度向上を図る情報発信等の事業を通じて、協議会構成団体の広域的な連携が築かれた。					
現状と課題	全国情報誌で取り上げられることが多くなってきているため、構成市町村の連携を密にした事業を継続実施するとともに、観光地域づくりプラットフォームの設置、観光地域づくりマネージャーの選任等、新観光圏への移行を検討する必要がある。					
推進手法		観光協会の一本化を働きかけ、各種関係団体との連携強化も含めて市観光推進体制の整備を推進します。			村上	
担当課	商工観光課					
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 平成22年4月に新村上市全体を包括する新村上市観光協会が発足した。組織は支部制とし、荒川・神林・朝日・山北の各支部を各商工会に委託している。					
現状と課題	現在の体制では、観光宣伝実施区域の拡大や観光振興計画の施策等の新規事業の実施が難しい状況にあり、職員の増員と財政基盤の確立が課題となっている。今後は、支部体制も含め、観光協会と観光行政のあり方を早急に検討する必要がある。					

基本目標3 活気に満ちた輝くにぎわいのまちづくり					地区	委員氏名
政策	5	観光の振興	施策	1		
推進手法		観光振興によるまちづくりの推進に向けて、関係機関および関係団体、関係者との定期的な情報交換を進めるとともに、観光ガイド育成等の研修システムを整備します。			上記を確実に実施されることで観光ガイド育成のための研修システムを立ち上げることができる。(観光振興計画 P35 1-3) その前提として、既存の観光ボランティアガイド会の事務局体制の拡充を担当人員の増員を手当てすることにより、実現する必要がある。	村上
担当課		商工観光課				
内部評価及び 主な 実施事業等		十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施				
現状と課題		村上市観光振興計画管理委員会や村上市観光ガイド会研修視察等により情報交換を実施したが、観光ガイド育成の研修システムが整備されていない。				
現状と課題		定期的な情報交換が不足しており、体制を含めた検討が必要である。観光ガイド育成の研修システムについては引き続き関係団体と協議を進める必要がある。				
推進手法		観光情報の一元化を推進し、関係機関との連携のもと、常に最新のわかりやすい観光情報発信や、市民や観光客も参加できる情報提供を促進するとともに、観光情報の発信拠点となる観光総合案内施設などの整備を検討します。			村上駅前観光案内所に於ける外国人旅行者への英語・中国語通訳対応者の採用を急ぐ。(上記40・3・5・1・) 上記に関連して2015年3月観光庁が全国の自治体から提案を募る伝統的な街並み、温泉などを組み込んだ外国人旅行者向けインバウンド広域観光ルート整備支援事業(2015年夏まで数カ所認定、観光バス増発、無料無線LAN(wi-fi)の整備、多言語対応案内板設備 1億/??の応募を検討	村上
担当課		商工観光課				
内部評価及び 主な 実施事業等		十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施				
現状と課題		平成22年度に村上市、村上市観光協会、村上商工会議所を構成員とする村上市観光情報戦略会議で村上市観光協会ホームページを開設し、最新のわかりやすい観光情報の発信に取り組んでいる。また、平成25年度に観光総合案内施設である村上駅前観光案内所を設置した。				
現状と課題		ホームページの開設から5年目となり、スマートフォンや外国語への対応など、現在の情報通信サービスに対応した改修が必要である。				

基本目標 4 安全で快適な住みよいまちづくり						地区	委員氏名
政 策	2	河川・排水路の整備推進	施 策	3	自然と調和した河川環境整備の推進		
推進手法		広大な区域にわたり多数存在する本市の河川においては、それぞれの自然環境・景観はもちろんのこと、自然生態系の保全にも配慮しつつ、地域の持つ個性的な自然景観の形成、快適性に富んだ水と緑の豊かな河川整備の推進を図ります。			市内中小河川等の水生動植物の調査と生息環境の保全が必要である。	村上	
担当課	都市整備課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
	ふるさとの水と緑を持つ水辺のレクリエーション広場「水辺の楽校」の維持管理を実施したほか、関係機関に働きかけ荒川における「たんぼ」(湧水ワンド)の保全・再生や樹木伐採と河道掘削による礫川原の再生事業を進めてもらっている。						
現状と課題	荒川総合再生水系環境整備事業において整備された「たんぼ」の有効利活用について、流域の学校を含めた市民とともに河川愛護意識の情勢、地域との連携を進める。						
政 策	3	港の活性化の推進	施 策	1	港湾施設・海岸環境施設の促進	地区	委員氏名
推進手法		港湾施設に付帯する海岸保全および環境整備事業として、市民が憩いの場として利用できる港湾・海岸づくりを促し、有効的な活用を推進します。			環境整備事業のうち、瀬波温泉海岸「海岸づくり」の部分で、既存施設のメンテナンスが極めて悪い故、速やかに対策を講じるべきである。 (シャワー、トイレ、足洗い噴水場) 3カ所ある海浜公園案内図(看板)のうち、海浜管理事務所の1枚片面を除き、すべて描きなおしが早急に必要である。また、海を背に地図を見ると南北、上下逆で錯覚して誤って来客者を誘導するのにあくまで海岸線を下に位置して描きなおす必要がある。 砂浜のゴミ、おびただしい海浜にならない内地性の雑草除草も1年を通して、しっかり美観維持すべく予算措置が必要である。	村上	
担当課	都市整備課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			
	港湾と連続する海岸線では、離岸堤や階段護岸、遊歩道、公園、トイレ、駐車場などが整備され、地域住民のウォーキングコースとしての利用や夏季には釣や海水浴を楽しむ外部からの利用客によりにぎわいをみせている。						
現状と課題	海岸線単独での利用は一定の成果をみせているが、今後は港と海岸線の一体的な活用によるにぎわいの創出が課題となる。						

基本目標 4 安全で快適な住みよいまちづくり					地区	委員氏名
政 策	4	安全なまちづくりの推進	施 策	3		
推進手法		「村上市地域防災計画」や「村上市国民保護計画」に基づく総合的な災害対応能力の向上を図ります。			「村上市地域防災計画」に避難整備の促進を入れ、区民が安心・安全な生活環境の整備推進をします。	村上
担当課	総務課					
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施		
現状と課題	防災訓練を地域の実情に応じて行う自主防災活動へ移行することや市職員の災害時における行動訓練が不足していた。					
現状と課題	防災に対する十分な知識を持った職員の確保(研修の充実)、避難所運営を含めた職員の訓練、ITを活用した現場の情報収集が必要である。また、夜間や休日の連絡と出動体制を充実させる必要がある。					
推進手法		防災意識の醸成を図り、地域における自主防災組織の育成支援を推進します。			「自主防災組織」について、条例で設置の義務化を図れないか。	村上
担当課	総務課					
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施		
現状と課題	自主防災セミナーや防災士養成講座の開催により防災意識の醸成を図り、組織の結成率は77.5%、人口カバー率で78.8%まで向上した(2014年9月1日現在)。					
現状と課題	他地区と比較して山北地区の結成率が低くなっている現状にある。引き続き防災意識の醸成に努めていくとともに、地域に根ざした活動ができるよう、人材育成を含めた支援も充実していく必要がある。					

基本目標 5 豊かな心と文化を育むふれあいのまちづくり					地区	委員氏名	
政 策	1	学校教育の充実	施 策	1 「郷育のまち・村上」の推進			
推進手法		「郷育のまち・村上」を具現化するため、教育基本計画を策定し、進捗管理を行います。			村上		
担当課	学校教育課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			「郷育のまち・村上」は地域に定着していない気がする。まちづくり協議会と連携して推進できないか。
現状と課題	施策評価委員会(10名)により、事業評価を実施し「村上の教育」の施策評価をまとめ公表した。						
推進手法		「地域の子どもを地域みんなで育てる」を実現するため、郷育会議が中心となり、学校と地域が一体となった取り組みを推進します。			村上		
担当課	学校教育課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施			「郷育のまち・村上」は地域に定着していない気がする。まちづくり協議会と連携して推進できないか。
現状と課題	市内8中学校区で立ち上げた郷育会議を中心に、学校支援地域本部事業等を通じ、地域住民のボランティアによる学校支援活動を推進するとともに、家庭・地域・学校の三者の連携による地域ぐるみで子どもを育てる体制の構築に向けた取り組みを行った。						
現状と課題	ボランティア活動やオープンセッション等を通して、行政機関や団体・NPO等の連携が高まりつつある。今後も、地域コーディネーターの役割や教員の意識向上を図るとともに、学校支援活動の強化と関係者の意識啓発が必要である。						

基本目標5 豊かな心と文化を育むふれあいのまちづくり					地区	委員氏名
政 策	1	学校教育の充実	施 策	2		
推進手法		学力向上を図るため、学力の実態を把握するとともに、教材、教員、図書等の学習環境の整備、教育補助員、学習支援員の配置等によるきめ細かな教育を実施します。			学習支援員の計画的配置について質的人材の確保は必要であると考え	村上
担当課	学校教育課					
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施		
	全学校においてNRT学力検査を実施し、学力の実態を把握するとともに、教育補助員、学習支援員の配置等によりきめ細かな指導を実施した。各学校に教材備品、図書等を整備し、学習環境の充実を図った。					
現状と課題	NRT学力検査は、平成22年度と比較し、すべての教科で上回ることができたが、個別に配慮を要する児童・生徒は年々増加傾向にあり、引き続き、教育補助員、学習支援員の計画的な配置が必要となる。					
推進手法		幼保小中の連携、学校と地域が連携したボランティア活動など、豊かな心を育む各種取組を支援します。			「郷育のまち・村上」は地域に定着していない気がする。まちづくり協議会と連携して推進できないか。	村上
担当課	学校教育課					
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施		
	地域住民のボランティアの協力を得ながら「総合的な学習の時間」を中心として、地域の自然や伝統、特産物、名人等について学ぶ活動を実施したほか、クリーン作戦などの奉仕活動、教育フォーラム等を開催し、地域の歴史や自然等について関心があると肯定的に受け止める児童生徒が増えてきている。					
現状と課題	今後とも、地域と連携しながら「地域のよさを学ぶ」、「地域の人たちとかわる」という体験的な学習活動を進めていく。また、郷育会議の活動を充実していく中で、幼保小中の連携、家庭・学校・地域の三者の連携を密にしていく必要がある。					

基本目標5 豊かな心と文化を育むふれあいのまちづくり						地区	委員氏名
政 策	1	学校教育の充実	施 策	2	個を伸ばす学校教育の充実		
推進手法	ネット上のトラブル、犯罪に巻き込まれないよう情報教育の充実を図るとともに、複雑化、広域化する生徒指導上の諸問題や問題を抱える児童生徒に適切に対応、支援していくことができるように、専門的知識を有する指導員の積極的な活用を図り、教育支援センターの機能充実を図ります。		「ネット犯罪」「情報メディアと生活習慣」なども考えていく課題だと思ふ。			村上	
担当課	学校教育課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 ネットいじめ、不登校問題に関わる生徒指導研修、県教委と連携してのネットパトロールにより未然防止に努めるとともに、指導員による学校現場での諸問題に対する支援を実施した。						
現状と課題	外部から確認ができないネットトラブルが増加しており、ネットトラブルに関する教育の充実を図る必要がある。また不登校児童生徒発生率が県平均を超える状況が続いているため、引き続き学校体制の整備を進めていく必要がある。						
政 策	3	文化・芸術の振興	施 策	3	文化財の保護と活用施策の充実	地区	委員氏名
推進手法	市の歴史的ランドマークである史跡村上城跡・平林城跡の整備を推進することにより、それらを正しく保存し、市内外からの来訪者に公開します。		メジャーな文化財だけでなく、地域の神社や道祖神など史跡にも目を向けてほしい。			村上	
担当課	生涯学習課						
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 村上城跡では出櫓台跡石垣の修復整備を実施したほか、市民を対象とした説明会を行った。平林城跡では遺構の顕在化を目的とした杉木の伐採工事を行ったほか、成果について一般に公開した。						
現状と課題	国庫補助を受け整備事業を実施しているが、国・市の予算の関係で事業の進捗が遅延している。村上城跡における「保存管理計画」の策定と平林城跡におけるトイレ整備が課題となる。						

基本目標5 豊かな心と文化を育むふれあいのまちづくり					地区	委員氏名
政 策	3	文化・芸術の振興	施 策	3		
推進手法	埋蔵文化財は、周知業務による保存に努め、発掘調査で出土した資料は、展示による一般公開のほか、各種歴史講座の教材に活用し、地域住民の郷土史理解・愛郷心の醸成を図ります。		メジャーな文化財だけでなく、地域の神社や道祖神など史跡にも目を向けてほしい。		村上	
担当課	生涯学習課					
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 市ホームページ等で周知したほか、発掘出土品は「縄文の里・朝日」「三の丸記念館」等で期間を限定し一般公開している。なお、山元遺跡は、神納東小学校高学年の歴史授業の教材として活用した。					
現状と課題	埋蔵文化財の公開及び有効な活用について研究を進め、継続して事業を展開する必要がある。					
基本目標6 簡素で効率の良い行政経営					地区	委員氏名
政 策	1	組織・職員改革	施 策	4		
推進手法	職員数の削減を行う中で、市民サービスを維持・向上していくために、「職員研修基本方針（平成21年3月策定）」に基づき、より計画的かつ効率的な職員研修を行い、職員一人ひとりの徹底的な意識改革と能力の向上を図ります。		自治体の経営を意識した研修、意識改革が必要ではないか。 歳入を増やすための事業の創設推進 歳出低減を目指した事業の見直しなど		村上	
担当課	総務課					
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 階層別研修のほか各種研修を実施し、業務遂行に必要な知識、技術などを身につけ、成果は上がっている。（リスクマネジメント、接遇、男女共同参画、交通安全、クレーム対応）					
現状と課題	より多くの研修機会の確保、より効果的な短時間研修の設定が課題である。					

基本目標 6 簡素で効率の良い行政経営					地区	委員氏名
政 策	2	財政改革	施 策	3		
推進手法		すべての補助金等について、その必要性・公平性・公益性や補助等による効果の検証を行う制度を構築します。			村上	
担当課	総務課					
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり	一定の成果あり	実施したが不十分	未実施		
現状と課題	補助金制度の内容、金額等の公表に留まり、効果を検証する仕組みづくりまで検討できない。 「補助金の公表にあたっては効果も記載すべき」という意見を行政改革推進委員会からいただいており、事業実施年度以降も利活用状況等の報告を求めることなど、「出してしまえば終わり」でなく、継続して改善につなげる制度を検討する必要がある。					

意見集約

第1次村上市総合計画

中間総括(素案)

アクションプラン

【村上地区】

施策の内容	現状・理由等	地区	氏名
避難路整備の取組（促進）	<p>上海府地域は山と海に囲まれた地域です。大津波がきた場合、山に逃げることはできません。その山道があるのですが、人が高台に避難できるような道ではありません。区民が安全に避難できる山道（避難路）の整備の促進をします。</p>	村上	
内部評価及び主な実施事業等（P14参考として）	<p>まちなか循環バス、タクシー等について 高齢者が増えている、巡回バスは通院の為に誰が考えたのか、自分の身に成って足・腰の悪い人達は病院入口迄で行けるように、乗合タクシー等時間を決めて。</p> <p>村上市合併して岩船市にならなかったのか。岩船をもっと市役所の人達も考えれと言う。体が悪くても車で行けと言うのか。役所の人間はこれから岩船の事を考える人間を選べ。頭だけよくてはだめだ…。</p> <p>病気の人を考えて物事をやれ… 岩船の議員は何だ、町の為、苦しい人達を考える職員を選べ…（町の声の一部を書いた） 村上の為に市があるのか…</p>	村上	
伝統産業の再評価	<p>「山辺里織」伝統産業など、村上市には衰退した、あるいはなくなった産業・産品があるが、今一度評価しなおし、可能性があれば復活を目指す。</p>	村上	

施策の内容	現状・理由等	地区	氏名
大学等の誘致の検討	若者は、単に暮らしやすいために都会に出るだけでなく、知的欲求もある。当地域にノーマルな大学等があれば若者の流出が防げるのではないか。加えて、ジャムコ等航空機関連企業もあり、送り込む人材育成につながればよい。ちなみに、となりの鶴岡市には慶応大学の光端成分科学関連の研究設備がある。人文科学系の施設でもよい。	村上	
定年（還暦）Uターン・Iターンの推進	村上市出身で定年を迎えた者（市出身でなくてもよい）が、定年後、かつての村上で再び生活するようになれば、人口減防止の一助になるのではないか。県人会など通じて、意向調査を実施できないか。移住の可能性があれば条件整備等を行う。	村上	
知的産業の誘致	IT産業（ソフト開発）は、広大な工場は必要でないので、条件がそろえば、進出は不可能ではないと思われる。整えるべき条件を探索し、可能性があれば積極的に推進する。空き家が活用できるかもしれない。	村上	

施策の内容	現状・理由等	地区	氏名
若者の高速道路を活用した通勤のための条件整備	高速道路開通により、当市から新潟市への通勤は容易になった。「生活は村上、仕事は新潟」というのもひとつの形。そのための条件整備が必要である。保育施設の整備、住居施設条件整備等。	村上	
農業、農村観光の推進	農業や農村そのものを観光資源としてとらえ、来市してもらえる未来を展開できないか、ただし、“みせもの”にはしないことが大事である。林業、漁業も同様である。	村上	

意見集約

第1次村上市総合計画

中間総括(素案)

計画未計上分

【村上地区】

産業元気プロジェクト			地区	委員氏名
施策区分	(1) 産業の活性化			
施策の方向性	地域資源を活用した農商工連携や農林漁業の6次産業化を推進するため、きめ細かで段階的な支援体制の構築が必要です。	自己完結(個別)の6次産業化により農商工連携を主体とすべきと思う。地域内6次産業化といってもよい。地域の特産物を域内の専門家がそれぞれ特徴を生かし新たな産品を創出した方がよい。	村上	
担当課	農林水産課・商工観光課			
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 産業等の活性化支援事業による支援を実施したほか、農商工連携フェア実行委員会や地産地消推進協議会へ参画し、農商工連携フェアや逸品発掘交流会を実施したが、段階的な支援体制の構築には至っていない。			
現状と課題	6次産業化の促進については、まだ啓発活動から抜け出ていない状況にあり、今後は、「(仮)産業元気プラン」の見直しの中で、補助制度の充実、支援体制の構築が必要となる。			
施策の方向性	地場産業を守り育てる視点を大切にし、地産地消を前提とした事業化を推進する必要があります。	自己完結(個別)の6次産業化により農商工連携を主体とすべきと思う。地域内6次産業化といってもよい。地域の特産物を域内の専門家がそれぞれ特徴を生かし新たな産品を創出した方がよい。	村上	
担当課	農林水産課			
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 逸品発掘交流会の開催や、実際に販売等を行う農商工連携フェアへの協力をはじめ、関係機関と連携しながら、地産地消関連事業を行った。			
現状と課題	地産地消を進めている各団体等から意見等をいただきながら各種事業を進めているが、今後は関係団体と連携しながら、共に事業を進めていく必要がある。			

産業元気プロジェクト		地区	委員氏名
施策区分	(1) 産業の活性化		
施策の方向性	地域認証制度の検証を進めながら「村上ブランド」の確立を目指し、村上の風土に合った特産品や特産加工品づくりの支援を進めるとともに、加工所・生産組織の育成を図り、全国に情報発信していく必要があります。	村上	
担当課	農林水産課・商工観光課		
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 村上市地産地消認証制度を導入し、また、産業等の活性化支援補助制度の産業元気づくり事業で新商品等の開発や新品種の検討、加工品の販路拡大支援を行ったが、地域認証制度の確立にまで至っていない		
現状と課題	平成26年度に関係団体と協議を行い、認証基準を一部改正して運用している。飲食店・小売店の認証数が増えた一方、農産物等の認証数は増加しておらず、農工商連携や農林漁業の6次産業化を踏まえた制度の構築が必要と考える。		
施策区分	(2) 雇用の確保・拡大	地区	委員氏名
施策の方向性	地元から雇用を生み出す地域資源を発掘・活用できる起業を支援していく必要があります。	村上	
担当課	商工観光課		
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 企業設置奨励条例を改正し、小規模からの新設・起業に対する支援を制度化したほか、貸し物件を活用して事業を行う際の家賃補助制度を導入した。		
現状と課題	家賃補助制度については、まだ適用実績がない。今後はPRや対象業種の見直しなどが必要となる。		

産業元気プロジェクト		地区	委員氏名
施策区分	(2)雇用の確保・拡大		
施策の方向性	新規立地企業の誘致活動を推進すると同時に、既存立地企業をフォローアップする支援制度の構築が必要となります。	村上	
担当課	商工観光課		
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 企業設置奨励条例を改正し、小規模な立地から優遇制度の対象となるよう見直しを行ったほか、企業立地促進法による産業集積に係る基本計画を策定し、立地済み企業への支援を強化した。		
現状と課題	既存企業に対するフォローアップ施策が不足している。今後、中小企業振興基本条例の制定に向けて取り組む中で、どのようなフォローアップが可能か検討していく必要がある。		
施策の方向性	企業誘致の推進を図るため、現在の誘導地域の検証を行い、新たな立地候補地確保に向けた研究を進める必要があります。	村上	
担当課	商工観光課		
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 新たな工業用地の確保を検討するプロジェクト会議を開始し、日下の創設非農用地の活用に向けて検討している。		
現状と課題	現在地目が農地となっているため、転用やインフラ整備などのハードルをクリアしていく必要がある。		

産業元気プロジェクト			地区	委員氏名
施策区分	(3) 高速交通体系の整備促進		地区	委員氏名
施策の方向性	国土ミッシングリンクの解消に向け、日本海東北自動車道朝日まほろばI.C.からあつみ温泉I.C.間の早期開通に向け、地域をあげての要望を強化する必要があります。	高速道路建設で考慮していかなければならない問題点が多い。高速道路建設の際の自然環境の喪失、騒音振動濁水等による自然生態系に及ぼす悪影響エッジ効果や公害など車による大気汚染は、自然生態系は勿論、人間の健康にも直接悪影響を与えている。これらのことも同時に考え計画し進めていく事が不可欠であると考え。	村上	
担当課	都市整備課			
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 早期開通に向けて、期成同盟会による促進大会・要望活動や地元団体シンポジウムを展開した。			
現状と課題	民間団体を構成された活性化協議会等との協力体制を整え、官民一体となった要望活動の推進が必要である。			
交流・体験プロジェクト			地区	委員氏名
施策区分	(2) 定住・交流人口の拡大		地区	委員氏名
施策の方向性	農村地域の活性化を図るため、開設したクラインガルテン（市民農園）の利活用を推進するとともに、新たな候補地及び手法の研究を進める必要があります。	「交流人口の拡大」を述べる時、「村上市観光振興計画」44項3-5 都市間交流の推進にも同様のことが謳われていることから、積極的に本項目ではツーリズム（グリーン クラインガルテン）との関連性から「観光」の重要性を改めて強調すべきである。	村上	
担当課	農林水産課・政策推進課			
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 朝日まほろば夢農園を開設し、都市住民との交流人口の拡大を図った			
現状と課題	朝日まほろば夢農園については、定員を満たしていないため募集手法の研究が必要である。			

交流・体験プロジェクト					
施策区分	(2) 定住・交流人口の拡大			地区	委員氏名
施策の方向性	保育料や住宅建築に対する支援等、移住定住者支援制度の研究を進め、定住人口の拡大を図っていく必要があります。			村上	
担当課	政策推進課・福祉課				
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 人口減少問題対策委員会を立ち上げ、定住人口の拡大に向け、村上市人口減少問題「チャレンジプラン」を策定。取り組める事業から取り組んだ。				
現状と課題	プランを着実に実行していくとともに、第2次総合計画の策定作業の中で拡充の検討を行う必要がある。				
健やか・子育て支援プロジェクト					
施策区分	(1) 健康づくりの推進			地区	委員氏名
施策の方向性	食育と運動を連携した総合的な施策を展開する必要があります。			村上	
担当課	保健医療課				
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 新潟県健康ウォーキングロードを市内4か所登録し、ウォーキングの環境整備を行うとともに、「歩こうむらかみプロジェクト」を企画しウォーキングの推進を図った。ウォーキング大会では、ウォーキングのみではなく減塩や野菜摂取についてなど栄養講座を取り入れた内容も企画している。				
現状と課題	運動習慣のある人は微増傾向にはあるが、更に普及・啓発を推進していく必要がある。				

健やか・子育て支援プロジェクト		地区	委員氏名
施策区分	(1) 健康づくりの推進		
施策の方向性	食育推進計画に基づき、食育推進ネットワーク、地産地消推進協議会と連携し、食育による健康づくりを推進する必要があります。	村上	
担当課	保健医療課		
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 食育推進会議や食育担当関係者と事業についての進捗状況や取り組みについて情報を共有しながら、食育推進活動を行っている。 また、関係団体と連携しながら、「食育フェア」を実施し、普及・啓発に努めている。	村上	
現状と課題	第2次食育推進計画に基づき、関係者と情報共有しながら、さらに食育の推進を図る必要がある。		
施策区分	(3) 子育て環境の整備	地区	委員氏名
施策の方向性	児童の健全育成を図るため、学童保育所を計画的に整備し、放課後児童対策の充実を図る必要があります。	村上	
担当課	福祉課		
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 瀬波学童保育所を建設したほか、保内学童保育所の建設に着手した。		
現状と課題	今後は老朽化した施設や管理面で問題がある施設から、保育園等施設整備計画に則り計画的に整備を進めていく必要がある。		

健やか・子育て支援プロジェクト		地区	委員氏名
施策区分	(4) 高齢者・障がい者福祉及び介護予防対策の推進		
施策の方向性	「高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画」に基づき、施設入所待機者の縮減を図るとともに、認知症予防を中心とした介護予防事業を推進する必要があります。	現状と課題で「会場までの交通手段がない」とあるが、地区ごとには実施できないものか。	村上
担当課	介護高齢課		
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 元気クラブや脳の健康教室への参加により脳の活性化が見られたほか、参加することで閉じこもりが解消され、友人もでき社会的交流の幅が広がるなどの成果が得られた。		
現状と課題	会場までの交通手段がなく教室に参加したくても参加できない方もおり、交通手段の確保が課題である。また、認知機能の低下がみられる方の参加が少なく、かつ固定化しているため、参加者の増加に向けた取組が必要である。		
施策の方向性	講座等を開催し、地域で見守る体制づくりを推進する必要があります。	内部評価及び主な実施事業等中、養成講座を企業・小学校・地域住民等・・・、記載があるが中学校では実施しなかったのか。	村上
担当課	介護高齢課		
内部評価及び主な実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施 認知症サポーター養成講座を企業・小学校・地域住民等を対象に開催し、認知症の方をどう地域で支えていけばよいのかを周知した。また、「村上市高齢者見守りネットワーク」の体系図を作成し、市内の見守り支援がわかり、対象者に対し支援を提供できる体制を構築した。		
現状と課題	一人暮らしの認知症の方が地域で暮らすことに対し、地域住民の不安はまだまだ強く、施設入所に繋がるケースが多い。今後も講座を地域に出向いて開催し、ネットワーク図について、地域住民に配布していく必要がある。		

人づくりプロジェクト			地区	委員氏名
施策区分	(1)「教育のまち・村上」の推進		地区	委員氏名
施策の方向性	学校支援地域本部事業を充実し、家庭・地域・学校が一体となった教育環境づくりを推進していく必要があります。	小中高校生に本物の人物の講演・講義・演技等を体験させてほしい。	村上	
担当課	学校教育課			
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施			
	市内8中学校区で立ち上げた郷育会議を中心に、学校支援地域本部事業等を通し、地域住民のボランティアによる学校支援活動を推進するとともに、家庭・地域・学校の三者の連携による地域ぐるみで子どもを育てる体制の構築に向けた取り組みを行った。			
現状と課題	ボランティア活動やオープンセッション等を通して、行政機関や団体・NPO等の連携が高まりつつある。今後も、地域コーディネーターの役割や教員の意識向上を図るとともに、学校支援活動の強化と関係者の意識啓発が必要である。			
暮らし応援プロジェクト			地区	委員氏名
施策区分	(1)自然環境の保全		地区	委員氏名
施策の方向性	ゴミ分別の徹底を図るとともに、ゴミのリデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）の3R活動を推進していく必要があります。	消費文化の浸透によるゴミの増加は、今や世界共通の悩みでもある。村上市でも直面しているのが、不法投棄によるゴミ問題で環境問題の中でも、最大の課題の一つである。取締りの強化も一つであるが、やはり時間をかけて循環型社会の構築を目指すこと他ならないと思う。環境問題とあわせて不法投棄をなくする普及啓発をやらなければならないと考えている。	村上	
担当課	環境課			
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施			
	見やすいゴミ収集カレンダーを作成し、分別収集の徹底を図るとともに、分別品目の拡大に取り組んだ。(小型家電、有害ごみ)			
現状と課題	回収品目については現行のまま推移を見守り、周知の徹底化を図るとともに、回収拠点数や回収量の増により再資源化を推進する必要がある。また、学校、NPO等、回収方法の研究も進めていく必要がある。			

暮らし応援プロジェクト			地区	委員氏名
施策区分	(1) 自然環境の保全			
施策の方向性	公共用水域の水質保全を図るため、下水道未整備地域を早期に解消する必要があります。		村上	
担当課	下水道課			
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施	三面川や種川の水質汚染が年々進み、三面川は三面ダムから流失しているマンガンが酸化し、内水面の魚介類に大きな影響を及ぼしている。近年荃太地区周辺のアユ生態系に壊滅的な打撃を受けている。また、種川は流量不足や河床の変化、矢板構造の欠陥などの原因により、全域にヘドロが堆積し、鮭の自然産卵に大きな影響を与えている。種川に訪れた観光客に胸を張ってこれが有名な三面川の鮭だと言えない。「鮭の町村上」としてこの水質汚染対策を緊急に対処しなければ、後に莫大な予算を費やさなければ元の種川に戻せなくなる。観光で訪れる人たちは、種川の自然産卵をみて、心から感動し帰っていく。人を感動させる力は自然そのものの営みに触れた時に感動を覚えるものである。現在日本の各地では、卵や稚魚を大量に自然界に放流する栽培漁業がおこなわれているが、遺伝子問題に大きく影響し、三面川に帰ってくる鮭を見ても個体の小型化問題が指摘されている。		
現状と課題	村上処理区について早期完了に向け計画的に実施していく必要がある。			
施策区分	(2) 公共交通体系の整備		地区	委員氏名
施策の方向性	実証運行を検証し、通院・買物支援・通学等の生活交通確保を主体に、デマンド型（予約型乗合）交通等、地域の実情にあった利用しやすい交通体系の確立を目指す必要があります。		村上	
担当課	自治振興課			
内部評価及び 主な 実施事業等	十分成果あり 一定の成果あり 実施したが不十分 未実施	現状と課題中、設備の老朽化とは何を意味しているのか、車両ならばつきり記載すべきと思う。		
現状と課題	まちなか循環バス、せなみ巡回バス、荒川、神林、朝日、村上の一部地域にデマンドタクシーを展開してきた。 デマンド型タクシーの委託料の算定基準が地区ごとに異なっているため、調整が必要。また、事業者の高齢化、設備の老朽化が懸念される。			